

【e-ネット安心講座】 半田市立宮池小学校PTAのみなさま

インターネット・携帯電話の安全な使い方 < 子どもをネット社会の被害者にも加害者にもしないために >



e-ネット安心講座とは:

子どもに迫るネット危機の実態を学び、その予防と問題解決のために、家庭でどのようなネット安全教育を実施すればよいかを考える講座です。

2014年2月4日
 e-ネットキャラバン
 講師 林 雅樹

e-ネットキャラバンのご紹介


総務省
 Ministry of Internal Affairs and Communications
 > ご意見・ご提案 > English > Google™カスタム検索 > サイト内 > 関連サイト
 ここに検索語句を入力

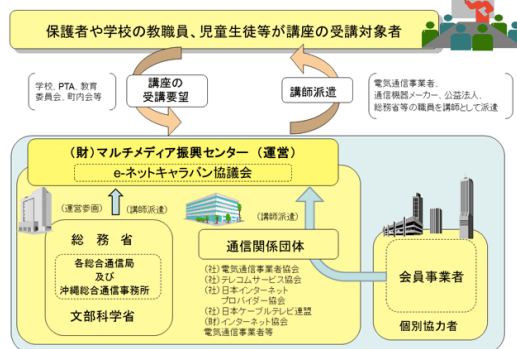

総務省トップ > 政策 > 情報通信(ICT政策) > ICT利活用の促進 > 教育情報化の推進 > eネットキャラバンの推進

- 教育情報化の推進**
- フューチャースクール推進事業
 - 教育分野におけるICTの活用事例
 - 校内LAN整備の促進
 - ICTメディアリテラシーの育成
 - eネットキャラバンの推進
 - インターネットラブル事例集
 - 社会・産業におけるICTシステムの役割についての啓発教材

eネットキャラバンの推進

インターネットや携帯電話は、今や私たちの日常生活やビジネスに欠かせないコミュニケーションツールとなっており、近年では子どもたちでも容易に使える環境が整っています。一方で、子どもたちは大人より警戒心もなく、使う上での判断力やモラルの準備が整わないうちに、安易にネットの世界に足を踏み入れてしまいがちであるため、ケータイ依存やネットいじめ、ネット詐欺などのトラブルも多発しています。このため、総務省では、文部科学省及び通信事業者等と連携し、保護者や学校の教職員、児童生徒を対象とするインターネットの安心・安全な利用に向けた啓発活動(全国規模で行う出前講座)を実施しています。

推進体制



インターネットで広がる世界

1. 情報入手
2. コミュニケーション
3. 音楽・ビデオ
4. ショッピング
5. 遠隔操作
6. ネット予約
7. 情報発信
8. 居場所・安否確認

宮池小学校に来るまで

なかよく 考え たくましく



半田市立 宮池小学校

TEL 0669-22-8777 | E-mail info@miyaike-e.ed.jp

訪問者カウンタ

119006

宮池小応援団の募集

■宮池小応援団の登録について（お願
い）
宮池小学校では、保護者と地域の人が
参加した「宮池小応援団」をつく
り、活動
しています。宮池小応援団の趣旨及び
申込用紙は下記PDFによりご覧いた
だ
けます。
[宮池小応援団募集用紙.pdf](#)

学校案内

Miyaike Elementary School



ネット社会の7つの常識

1. 自分のことはまず自分で守る
2. 情報発信の際には法律とマナーを守る
3. ネット上の個人の行動は特定される
4. 怪しいサイトや見知らぬ人に近づかない
5. 群集心理にのらないで冷静な判断をする
6. セキュリティ対策は万全に
7. ネット上のトラブル解決には協力体制で



ネット社会の7つのトラブル

1. 著作権等の違反
2. メールや書き込みでの誹謗中傷やいじめ
3. 誘い出しによる性的被害や暴力行為
4. インターネットショッピングをめぐるトラブル
5. ネット依存による(心身の)健康被害
6. ウイルスの侵入や個人情報の流出
7. 犯行予告等



忍び寄るケータイ依存

友だちや家族と話をするのが面倒 (コミュニケーション不足)
すぐ返信しない!!

アダルトサイト

集中力の低下

睡眠不足、眼精疲労、かたこり、イライラなど

健康な生活が営めなくなる。

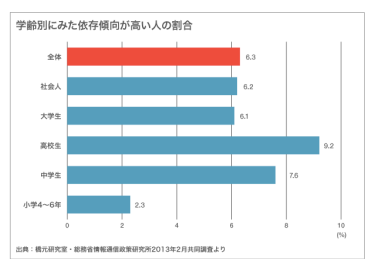
調査報道や事件の背景に

ネット依存の中高生、全国に52万人 PCやスマホ没頭

- ネット依存の危険度がわかる質問項目**
8項目のうち、5項目以上に当てはまると、ネット依存の疑い
- ネットに夢中になっていて感じているか
 - 満足のため使用時間を長くしなければと感じているか
 - 制限や中止を試みたが、うまくいかないことがたびたびあったか
 - 使用時間を短くしようとして落ち込みやイライラを感じるか
 - 使い始めに考えたより長時間続けているか
 - ネットで人間関係を台無しにしたことがあるか
 - 熱中しすぎを隠すため、家族らにうそをついたことがあるか
 - 問題や絶望、不安から逃げのためにネットを使うか

【辻外記子】「使用時間を短くしようとするとイライラする」などインターネット依存の疑いが強い中高生が推計で全国に52万人いることが、厚生労働省 研究班の調査でわかった。中高生を対象にした全

また、スマートフォンの利用者の依存率は6.9%、非利用者のネット依存率は5.8%で、統計上有意に、スマートフォンの利用者の方が依存率が高かった。ちなみに、依存率は適用する基準や標本母集団の選定法によって変動が大きく、数字自体に絶対的意味があるものではないが、高校生で依存率が低く、またスマートフォン利用の方が非利用者より依存率が高いという結果は注目すべきである。



若者のネット依存のタイプで多い「きずな依存」

- 5 2020年東京オリンピック大会の開催地と日本代表のインパクト
 - 6 オリンピックと日本代表
 - 7 日本を襲った第一回東日本大震災の被災者の生活再建の状況
 - 8 再生可能エネルギーの再生に寄与する
 - 9 「コメよりのパン」になった日本人の食生活
 - 10 選挙を監視する市民団体の活動と「インド太平洋」の地政学
- 最新コンテンツ**
- 1990年代以降の政府再編と改進黨の活動
 - 選挙制度改革の議決行動の背景
 - 【選士】在野党の大勝と選挙の改革
 - 選挙制度改革の背景
 - 中国の選挙制度改革と「インド太平洋」の地政学
 - いま見えない2020年東京オリンピック

どうすれば？

予防と 対応

保護者のすばやい対応と子どもに自分を律する心を持たせることが大切です

- ➡ **家庭内ルールの設定**
携帯電話の活用ルールを子どもと一緒に決めましょう。
- ➡ **ケータイを使わない時間帯を設定**
ケータイを使う時間を短くしましょう。
- ➡ **カウンセラーに相談**
遠慮せず養護の先生やカウンセラーに相談しましょう。



9

広がるネットいじめ

うつ状態などの
精神的被害
(気力低下)



短期間に被害が拡大・深刻化していくことに注意が必要です。

10

どうすれば？

予防と 対応

保護者、学校、カウンセラー、警察などとの協力によるすばやい対応が大切です。

- ▶ **サインを見逃さない**
子どものサイン（おびえ、無口、食欲低下等）を見逃さない。
- ▶ **証拠を残す**
書き込みの画面の証拠を残しておく、後の対応がしっかりとできます。
- ▶ **学校や専門家にすぐ相談**
迷わず学校やカウンセラー、警察などに相談しましょう。（相談窓口があります。43へ



11

危険なネット誘引

性的搾取、性的被害
(児童買春、援助交際につながる)

引っ掛かるかな・・・

実物

会ってみようかな～♡

男子生徒も加害者に

プロフやブログも危険

⚠ 性的搾取や性的被害、暴力等にあう可能性があります。

12

どうすれば？

予防と対応

学校、カウンセラー、警察などの協力によるすばやい対応が大切です。

➡ 誘い出しを防ぐルールを作る

個人情報は教えない、会いに行かない、自分の画像はアップしない等。

➡ サインを見逃さない

お金の使い方、外出の頻度、隠している様子等を見逃さないように。

➡ 学校や専門家にすぐ相談

遠慮せず学校や専門の相談窓口にご相談しましょう（電話相談窓口もあります）。

大丈夫ですよ！

電話相談窓口

行っちゃダメ!!



13

ネット詐欺の巧みなワナ

ネット詐欺の手口



お金、物品、情報をだまし取ろうとする人がいます。

14

どうすれば？

予防と 対応

消費者センター、警察などとの協力による
すばやい対応が大切です。

▶ 保護者と一緒に利用する

家庭では、保護者と一緒に安全なネットショッピングを楽しみましょう。

▶ クレジットカードの管理は厳重に

子どもが勝手に使わないようクレジットカードの管理は厳重にしましょう。

▶ 消費者センターに相談

遠慮せず消費者センターに相談しましょう（電話相談窓口もあ



15

犯行予告は犯罪です！

携帯電話・パソコンから掲示板に子どもが書き込んだ犯行予告でも特定されます。



たとえいたずらでも、犯行予告は犯罪です。
実行者は必ず見つかります。

著作権・肖像権は大切にしよう!

著作権や肖像権を守り合う社会にしましょう。肖像権は、有名人のパブリシティ権と一般人のプライバシー権としてのものの両方があります。



お互いの著作権と肖像権を守り合う社会を作ることが大切です。

個人情報の流出を防ごう!

パソコンから外部へ個人情報が流出するのを防ごう!



パソコンがインターネットにつながると個人情報が外部に漏れ出す危険性が増します。

チェーンメール・迷惑メールをうまく処理しよう!

不必要なメールは無視する勇気と正しい判断力を育てましょう。



大きな被害にならなくても、
保護者による丁寧でこまめな対応が必要です。

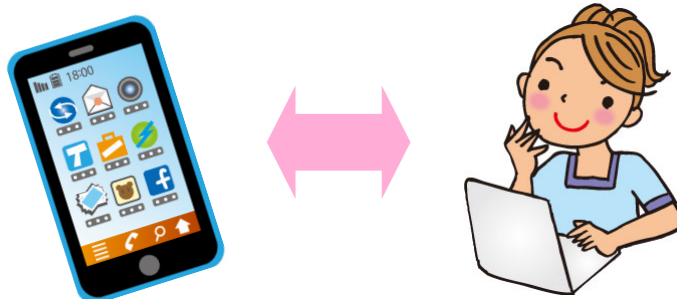
デジタルネイティブ

生まれたときから
ケータイ・ゲーム・ネットに囲まれて育ち
それらを使うのが『当然』



スマートフォンとは・・・

携帯電話 + パソコン



ケータイと比べると非常に高機能で
アプリ開発や流通が容易

36

無料通話・無料メールアプリ

電話番号・メールアドレス・アドレス帳
プロフィール情報・画像情報などの情報が
企業に収集されている場合も・・・



利用規約をよく読もう！
信頼のおけるアプリを使用しよう！

38

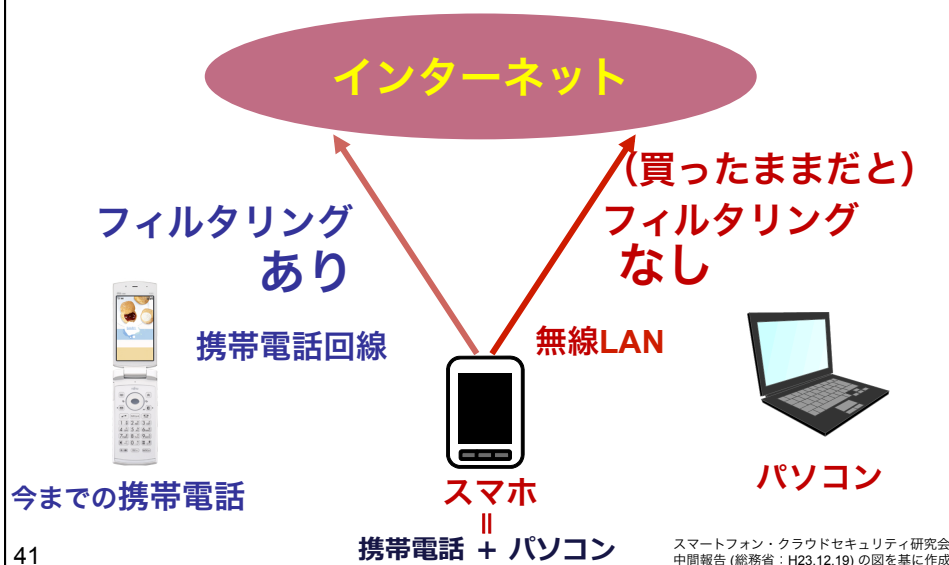
スマホのフィルタリングについて

無線LAN 経由でのインターネット接続は
フィルタリングがかかっていないことがある！



40

スマホの接続経路



41

どうすればいい？

アプリの利用制限

セキュリティ対策

フィルタリング

✖ イメージを表示できません。メモリ不足のためにイメージを開くことができないか、イメージが破損している可能性があります。コンピューターを再起動して再度ファイルを開いてください。それでも悪い×が表示される場合は、イメージを削除して挿入してください。

最新の情報を常に入手しよう

42

フィルタリング

様々な活用できるフィルタリング（以下写真はその一例です）

- ・ 携帯会社が提供するフィルタリング
- ・ プロバイダーが提供するフィルタリング
- ・ パソコンやスマホにソフトを導入する方式

The image displays three screenshots of filtering services:

- au (left):** A screenshot of the '安心アクセス for Android™' service page, showing options for filtering content on mobile devices.
- ASAHIネット (middle):** A screenshot of the 'セキュリティサービス トフィルター' (Security Service i-Filter) page, highlighting a monthly fee of 210 yen (tax included) and the ability to block up to 32 categories of sites.
- トフィルター (right):** A screenshot of the 'i-フィルター 6.0' software page, which is compatible with Windows 8 and offers advanced filtering capabilities for internet usage.

26

ネット社会の7つの常識

1. 自分のことはまず自分で守る
2. 情報発信の際には法律とマナーを守る
3. ネット上の個人の行動は特定される
4. 怪しいサイトや見知らぬ人に近づかない
5. 群集心理にのらないで冷静な判断をする
6. セキュリティ対策は万全に
7. ネット上のトラブル解決には協力体制で



保護者と子どもが
一緒に誓う

7つの約束

保護者が、子どもをネット危機から守るための「7つの約束」

1. 大人も子どももルールやマナーを守ります
2. ネットで知り合った人とは会いません
3. 家庭のルールを作ります
4. いじめはしません、見逃しません
5. トラブルは大人に相談します
6. 加害者にも被害者にもなりません
7. 大人の携帯電話を勝手に使いません

ご清聴ありがとうございました。

安心インターネットライフ★ガイド

編集／発行 一般財団法人 マルチメディア振興センター

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-22-1秀和第二芝公園三丁目ビル

TEL.03-5403-1090／FAX.03-5403-1092

E-mail:e-netcaravan@fmmc.or.jp

URL:http://www.fmmc.or.jp

編集主幹 田中博之(早稲田大学大学院教職研究科・教授)

法律アドバイザー 田島正広(田島総合法律事務所 所長・弁護士)

編集協力 ネット安全モラル学会

29